

『足立区奨学金返済支援助成申請書』

記載上の注意事項

1 本人の欄

- ① 氏名にはフリガナをつけてください。
- ② 学校名については、国立・公立・私立の該当項目に○をして、在学学校名又は卒業校を記入してください。
- ③ 電話番号は必ず日中連絡のつく番号を記入してください。
※日中に連絡をしますので、学務課助成係の番号（03-3880-5977）を登録しておいてください。
- ④ eメールアドレスは電話がつながらない時などに使用しますので、お持ちの場合は記入願います。

2 保護者の欄

- ① 氏名にはフリガナをつけてください。
- ② 電話番号は必ず日中連絡がつく番号を記入してください。
※日中に連絡をしますので、学務課助成係の番号（03-3880-5977）を登録しておいてください。
- ④ eメールアドレスは電話がつながらない時などに使用しますので、お持ちの場合は記入願います。

3 志望学校又は入学予定校の欄

- ① 国立・公立・私立の該当項目に○をして学校名を記入してください。
- ② 具体的に志望学校が決まっていなくても、必ず現在の志望学校を記入してください。 ※採用決定後の変更は可能です。
- ③ 入学先の学校が決定している場合は、第一志望の欄にのみ記入してください。

4 家族状況の欄

- ② 本人氏名も含めて記入してください。
- ② 年齢については平成30年10月1日現在で記入してください。
- ③ 続柄は本人からみた場合を記入してください。
- ④ 職業についてはくわしく記入してください。
学生の場合は在学学校名、学年を記入してください。
<例> 銀行員、ガラス加工業、〇〇高校3年、〇〇大学4年

5 第一種奨学金（日本学生支援機構）申込状況の欄

申し込んでいる状況を記入してください。まだ貸付金額等が決定していない場合は、予定貸付金額で計算のもと記入をしてください。

7 進学を希望する理由の欄

採用決定する為の重要な資料になりますので、申請者本人ができるだけくわしく、将来の夢や進学したいという強い気持ちを記入してください。目安としては半分以上記入してください。本人以外が記入した場合は、受付できません。

8 区の助成を希望する理由の欄

この制度を利用しようと思った理由を記入してください。

<例>「返済の負担を楽にするため」など。

9 その他

必ず、黒か青色のボールペン、または、万年筆を使用してください。鉛筆等のみで記入していた場合、申請を受け付けませんのでご了承ください。

申請年月日及び氏名を記入のうえ、必ず押印（スタンプ印は不可）してください。
本人・保護者、別のハンコを使用してください。

足立区奨学金返済支援助成推薦調書

秘

記入例

生徒氏名	足立 見本花子	学校名※	都立〇×高等学校	学年	第3学年
------	---------	------	----------	----	------

※学校名は在学

学校のわかる範囲で記入してください。貸付制度だけでなく、給付制度を申請している場合も記入してください。

1 他の奨学金への申請状況

申請なし	申請あり：奨学金制度名を記入⇒〇〇奨学金、××給付金
------	----------------------------

2 人物について

NO	評価項目	判定のポイント	評価(○を記入)				
1	人物及び将来の目標	学習活動その他生活の全般を通じて態度・行動が学資金の支援をする学生としてふさわしく、進学及び進学後の人生設計が明確であり、将来良識ある社会人として活動し、社会に貢献する人物となる見込みがあること。	5	4	3	2	1
2	学力及び資質	学校の教育目標に照らして十分に満足できる高い学習成績を収めていること。または教科以外の学校活動等で大変優れた成果を収め、学校の教育目標に照らして概ね満足できる学習成績を収めていること。	5	4	3	2	1
3	学習意欲	勉学の意思を持って通学しており欠席、遅刻等の問題もなく、学習意欲を持って授業に臨んでいること。	5	4	3	2	1
4	健康状態	健康診断等により、修学に耐え得ると認められること。	5	4	3	2	1

3 学業成績

(直近成績：第 学年・期) ※在校生は直近、卒業生は卒業時の成績を記入

科目	現代文	古文	漢文	数学I	数学II	世界史	地学	倫理	英語	体育	保健	平均点
成績	3	3	4	4	3	4	4	5	4	4	4	42点 3.8点

表に書ききれない場合は、成績証明書等を添付していただくようお願いします。

4 推薦総合所見 (できるだけ具体的に記入してください。)

*本特別推薦に値する本人の頑張り、意欲やその他の評価について、上記の評価を含めた総合的な所見を具体的に記入してください。

学習面では、熱心に学習に取り組み、その成果が日ごとに現れてきている。生活面では、友人達の悩みを親身に聞いてあげるなど、人望が厚い。本人は進学して心理学等を学び、将来はカウンセラーになりたいとの夢があるが、経済的に非常に困難な状況である。

本人の夢を実現し、将来社会に貢献する人物となるには、日本学生支援機構第一種の返済を支援するこの制度を利用して進学することが、本人及び社会にとっても有益であると考えられるため、本調書により推薦する。

足立区長

上記の生徒を、足立区奨学金

こちらを参考に、記入してください。ご不明な点がございましたら、学務課助成係(03-3880-5977)にお問い合わせください。

ます。

月 日

出身校名

学校長名

公印

- 上記の出身校の所見を認め、
- 上記の生徒を、

足立区奨学金返済支援助成金の対象者として推薦いたします

平成 30年 ◇月 △日

在学学校名

都立〇×高等学校

学校長(学長)名 千住 見本太郎

公印